

令和4年度 第3回羽島市立竹鼻中学校運営協議会 議事録

1	日 時	令和5年3月9日(木) 13時30分～15時30分
2	場 所	羽島市立竹鼻中学校 会議室 (北舎1階)
3	出席者	<p>20/21名 <ご指導>羽島市教育委員会 教育支援センター 指導主事 岩田陽助 様</p> <p> 松下 友幸 (会長 竹鼻町地域コーディネーター 不二羽島文化センター顧問) 小林 美雪 (副会長 福寿町地域コーディネーター 元西部幼稚園園長) 小森 博昭 (竹鼻町自治会長) 安田 寛治 (福寿町自治会長) 牧野 貞臣 (竹鼻コミュニティセンター館長) 田中安志郎 (福寿コミュニティセンター館長) 中畑 弘 (竹鼻コミュニティセンター協議会長) 後藤 栄治 (福寿コミュニティセンター協議会長) 大野 仁作 (竹鼻町民生児童委員会長) 岩佐 和子 (福寿町民生児童委員) 馬場まさ子 (竹鼻町主任児童委員) 浅井 美子 (福寿町主任児童委員) 大野 一明 (竹鼻町青少年育成推進員) 松野 正治 (福寿町青少年育成推進員) 後藤周太郎 (岐阜県立羽島高等学校長) 水野 宏明 (竹鼻中学校PTA会長) 森山 健 (竹鼻中学校校長) 杉山 正高 (竹鼻中学校教頭) 黒木 美芳 (竹鼻中学校教頭) </p>
4	議 事	<p>1. 開会挨拶 (協議会会長)</p> <p>2. 「令和5年度前期生徒会選挙立会演説会」参観</p> <p>3. 学校運営について ①現在の学校の状況 ②生徒の姿 ③コミュニティスクール活動報告 ④令和4年度学校評価</p> <p>4. 令和5年度学校運営について 提案及び承認</p> <p>5. 意見交流</p> <p>6. 連絡事項</p> <p>7. ご指導 (羽島市教育委員会 教育支援センター 指導主事 岩田陽助 様)</p> <p>8. 閉会挨拶 (協議会副会長)</p> <p>【令和5年度前期生徒会選挙立会演説会の参観より】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しい年が始まる、期待がもてる、といった明るい気持ちになる。 ・立候補者の公約に、校則を変えていこうという意見がいくつかあった。今の時代にあった校則の変え方で納得した。自分たちの校則を自分たちで変えていこうとする態度がよい。 ・会釈、拍手など、聞く側の姿も素晴らしい。多くの子どもたちが落ち着いて参加している。学校になじめない子どもを地域で見守っていきたい。 ・ひと昔前の様子とは異なり、静かに聞く子どもばかり。しかし、時代が変わり姿は変わっても、心の中は変わっていないかもしれない。表面に現れていないが困っている生徒もいるかもしれない。気を付けていかななくてはいけないと感じる。 <p>【生徒の姿について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今まで通りの日常が戻りつつある。しかし、マスクのことも含めて気持ちが追いつかないところもあるかもしれない。

		<ul style="list-style-type: none"> ・今後SDGsは必然になる。何らかの形でSDGsに関わっていくことになる。中学校のうちから関わることは大切だと感じる。社会のリーダーになっていく子どもたち、身近に感じる取組から始めているところがよいのではないか。 <p>【クラブ化について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県も指導者育成を始めている。競技人口が少ない種目では、指導者の取り合いになっていくと考えられる。教員のコーチ登録もあるが、異動により不安定になっている。 ・指導者が不足している。今後、ネックになってくるのではないか。人材の情報提供等、運営協議会としても協力できることがあるのではないか。応援していくので声をかけてほしい。 <p>【地域の活動について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度は、これまでと大きく社会が変わる。コロナの縛りが緩和され、自由に活動できるようになる。コミセンも日常に戻していく。中学校、小学校とのコラボレーションもしていこうと考えている。 ・コミセンの反省会では、中学生がよい意見を言ってくれる。令和5年度にやりたいこともたくさん出してくれた。子どもたちは、やりたいことがたくさんあってウズウズしている感じ。中学生の意見を取り入れて活動していきたい。 ・「ながら見守り隊」を結成して動いている。子どもの明るさ、楽しみである。 ・子どもも大人も閉ざされた3年間だった。解放されてもすぐには戸惑うかもしれない。以前のことをそのまま復活するのはどうかと考えている。コミュニティの重要性を考えながら復活していく予定でいる。 ・地域力が弱いと感じている。子どもの問題は、大人が作っているように感じる。子どもが学校で学んだこと、付けた力を地域社会で発揮するために、地域力・親力を上げることが大切。子どもの夢を壊さないために、地域社会が変わらなくてはいけない。義務教育の「義務」は、親の義務であるという認識が必要。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・制服の自由選択から、多様性を認める方向にある。外国籍やLGBT等、多様性が進むなか、自己選択ができる子の育成が求められる。とくに学校は同調圧力が働きやすい場である。自分の意見をきちんと言えることが大切になる。 ・家庭環境にかかわらず、向学心のある生徒、能力のある生徒の知識・能力を伸ばしてほしい。 ・感受性豊かな中学生時代、命を守っていくことを大切にしてほしい。 ・「地域、学校、家庭」が三位一体となった活動により、より楽しい行事ができるのではないかと感じる。 ・福寿小の鼓笛隊に感動した。学年を通して一貫して取り組む活動は、大人になったときに思い出になる。自分が取り組める何かを見つけてほしい。 <p>【ご指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが落ち着いている。自分の思いや願いを語れる、自分の力を発揮できるのは、安心・安全な環境が整っているから。 ・様々なことを抱えている現在の子どもたちだけでなく、未来の子どもたちをも、学校だけでなく地域で支えていただきたい。
5	連絡等	<p>(1)令和5年度 学校運営協議会委員について</p> <p>(2)令和5年度 学校運営協議会開催日について</p> <p>①令和5年 5月31日(水)</p> <p>②令和5年11月29日(水) 合唱フェスタ(予定)</p> <p>③令和6年 3月12日(火)</p>